



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2007-2008年度RI会長
ウィルフリッド J. ウィルキンソン



2007-2008年度
第2590地区ガバナー 亀ヶ谷 邦博

会長	吉田 隆男	会長エレクト	犬飼 和春
副会長	河野 明光	副会長	岩澤 利雄(PP)
幹事	加藤 仁昭	副幹事	古川陽太郎
会計	館野 典久	副会計	朝日 達夫
S A A	山田 正憲	副S A A	布施 是清
クラブ会報	田口健太郎	副S A A	永井 隆俊(PP)

クラブテーマ 「自然体で、ためになる、魅力あるロータリー」



事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-3 TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555

例会日 毎週金曜日0:30~1:30PM 例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/> E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2007-2008年度 第9号週報 No.1521

2007年(平成19年)9月7日 第1521回例会記録 9月14日発行

司 会 古川陽太郎 副幹事

点 鐘 吉田 隆男 会長

斉 唱 君が代・奉仕の理想

四つのテスト 飯田 泰之 職業奉仕委員長

ゲスト紹介

岩崎 恭子 様 (ゲストスピーカー)
許 凡 様 (米山奨学生)

ビジター紹介

神奈川県 R.C 樋口 明 君
横浜北 R.C 西山富太郎 君
横浜西 R.C 笹井 浩毅 君
高田 R.C 小山 市康 君

結婚記念日祝

古川陽太郎 会員 (9月9日)

誕生日祝

田邊 正彦 会員 (9月9日)
許 凡 様 (9月10日)



本日《9月14日》のプログラム

- ◆ 斉 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 ホタテのポワレ
- ◆ 卓 話 「開港150周年は横浜再発展の契機」

中田 宏 様 (青柳 紀 会員)

会長報告

米山功労者の感謝状が届いておりますので、贈呈します。
石川 正三 会員（6回）、古川 陽太郎 会員（3回）



地区より、新会員友添辰哉さんを推薦下さいました西山会員、赤堀会員にスポンサーバッジが届いておりますのでお渡しします。



地区より“2009-10年度ガバナーノミニー被指名者に野坂 定君が確定”との告知がありました。

幹事報告

ロータリーレート 9月1日～ 1\$ = 116円に変更
次週9月14日、例会終了後クラブ協議会を開催致します。大勢の出席をお願い致します。
倉敷 R.C よりバナーを頂戴致しましたのでご覧下さい。

委員会報告

雑誌委員会 委員長 橋本 直

「ロータリーの友」9月号のご紹介をさせていただきます。
横組6ページで、川崎中R.Cが、35周年記念事業委員会の予算と会員援助を活用し、エチオピアのサシガ郡ホラワタ小学校に、100脚のコンバインドデスクを寄贈されました。エチオピアでは大人の識字率は平均41%だそうです。

この世に生まれた限り、生きて学ぶ権利は平等であるはずと、未来を託す子供たちに十分な教育を受けさせてあげたい。これがロー

タリーが提唱する識字率の向上ということでしょう。

そして、横組28ページには、先月8月号から始まった「新樹の声」で、入会3年未満の会員の方々の意見や疑問、体験談などが掲載されています。

今月は、新世代のための月間です。日頃ロータリアンは明日を担う新世代の人々のために様々な活動をしています。その活動や交流が記事になっていますので皆様も是非ご覧下さい。

米山奨学委員会 副委員長 橋本 直

次週14日までにR財団・米山の寄付をお願い致します。

社会奉仕委員会 委員長 江森 国一

本日例会終了後、「神奈川区3地域合同地域まつり」に関しまして合同委員会を開催致します。

R情報委員会 委員長 山本 登

R情報として「ソングソング」についてご案内致します。（詳しくは今週号のロータリーミニ情報をご覧下さい）

副幹事 古川 陽太郎

地区国際奉仕委員長の吉原 皓一郎氏より、2590地区での水対策支援活動の現況報告について依頼がありました。（詳しくは今週号のロータリーミニ情報をご覧下さい）

出席報告

田中 栄 委員長

会員総数	66名	(49+17)名	
出席会員数	51名	(45+6)名	
出席率	91.84%		
ゲスト	2名	ビジター	4名
前回補正後	97.96%	前々回補正後	100%

スマイルボックス

山田 正憲 SAA

西山富太郎君 お世話になります。岩崎恭子さんの卓話を聞きに来ました。

樋口 明君 本日はお世話になります。よろしく願い致します。

吉田隆男君 岩崎恭子さん、本日の卓話楽しみにしています。

横浜北ロータリークラブの西山富太郎さん、ようこそいらっしゃいました。

田邊正彦君 誕生日祝をしていただきありがとうございます。

古川陽太郎君 結婚記念日祝いをありがとうございました。

岩澤さん、本日は大変貴重な御品を御惠贈賜り、誠にありがとうございました。

脇田さん、江森さんありがとうございました。

月山さん、河野さん先日はお付き合いいただきありがとうございました。また、月山さんには御馳走になり恐縮しております。

植田清司君 岩崎恭子様、本日はお忙しい中、ご来会いただきまして誠にありがとうございます。

月山 勇君 過日（8月28日）地区国際青少年交換委員として外国人留学生8名を書道教室へ案内。その様子が神奈川新聞に掲載されました。回覧しますので、ご覧下さい。味わい筆さばきでした。

月山 勇君 先日は、河野さん、古川さんお疲れの処ご足労願いまして、ありがとうございました。

脇田いすゞ君 昨日の麻雀大会中止残念でした。又の時、皆様出席よろしくお願い致します。

竹山 洋君 前会長、幹事慰労会出席できません。一年間お疲れ様でした。

山本 登君 今期は静かにしていましたが、やっぱり自然に実力通りになって来ました。Go Go Tigers

永井隆俊君 台風9号、昨夜すごい風と雨でしたね。

江森国一君 例会終了後、地域まつりの合同委員会を行ないます。

また、6時より直前会長、幹事慰労会です。お忘れなく。

上阪哲也君 本日、社用で中座させていただきます。

田中 栄君 久々のニコニコです。機嫌も良いですよ！

山田正憲君 年がいもなくサッカーで肉離れになってしまいました。年ですわね……

9月7日	16件	36,500円
本年度累計額		499,860円

「直前会長・幹事慰労会」

平成19年9月7日、ホテルキャメロットジャパン・14階アネックスにて小池直前会長・渡邊直前幹事を労って慰労会が開催されました。

前年度の思い出話などに花を咲かせ、楽しい夜の宴会となりました。



卓 話

「水泳を通して学んだこと」

岩崎 恭子 様

これまでに2回のオリンピックに出場し、このうち92年のバルセロナ大会では、200メートル平泳ぎで金メダルを取ることができました。



当時はまだ中学2年生になったばかりの14歳で、プレッシャーや欲がなく、普段の自分のレースができたことがいい結果につながったと思います。

予選では当時の世界記録保持者のアニタ・ノール選手（米国）とともに泳ぎ、同選手に次いで2位に入りました。日本記録も更新し、予選を終えた時点で満足していたのですが、コーチから「もう1回（決勝）あるからね」と言われ、気持ちを切り替えました。

決勝はとにかく精いっぱい泳ぎ切ろうと考えていました。レースでは序盤は5、6番につけ、少しずつ順位を上げていきました。最後はノール選手らとの3人の争いになり、2人をタッチの差でかわして優勝することができました。電光掲示板で優勝したことを確認したときはただただびっくりしました。

帰国後はそれまでと環境がだいぶ変わりました。目立ちたくないのに周りから注目され、「何のために水泳をやっているんだろう」と思うこともありました。

純粋に水泳が好きだけなのにメダルを取ったことでいろいろなものまで変わってしまった感じがしましたが、「分かってくれる人に分かってもらえばいい」と思うようになってからは周りの目など気にならなくなり、気持ちを切りかえることができました。

その後、アトランタ大会を経て20歳で選手を引退しました。現在はコメンテーター活動や水泳指導などに取り組んでいます。

大会を伝える際は、会場に足を運び、選手に話を聞きレースを見て判断するよう心掛けています。

これまでに見てきたレースの中では、アテネ大会の平泳ぎで2冠を達成した北島康介選手の泳ぎがとても印象に残っています。北島選手は素直でいろいろな意見を吸収することができ、尊敬できます。北島選手に限らず、選手には自分に負けず信念を貫いてスタート台に立ってほしい、と応援を送っています。

水泳にはこれからもかかわり続けていきたいですね。現在、スポーツクラブなど全国のいろいろな所で子どもたちに指導したり、イベントを行ったりしています。特に子どもに教えるときは、自分がまず元気であるように気をつけています。

一般の方には定期的に水泳を行うよう勧めています。行き詰ったときは専門家にアドバイスを受けたほうがいいでしょう。旅行に行くときも水着を持っていくようにすれば違う楽しみ方ができると思っています。

日本オリンピック委員会の環境アンバサダーにも任命されているので、スポーツを通して地球環境問題についても伝えていければいいな、と思っています。

「水対策支援活動現況報告」

ロータリーソング (Rotary Song) について

《由来》

1905年にシカゴ R.C が発足し、数年間経過すると「奉仕派 親睦派」の議論が白熱、例会の雰囲気は険悪なものとなった。(ex. 職業奉仕：AF シェルドン：1908入会) Harry Raggles (ハリ・ラグルス：1905年入会：第5番目の入会者：印刷業) が(椅子に飛び上り)皆で歌を歌う事を提案、険悪な雰囲気を和やかな物に転換させた。

彼の指揮により当時の流行歌の様な物が歌われ、習慣となった。1910年には歌曲集も出版され、各地の R.C へと伝播していった。RI 発表の歌曲集は現在150曲弱あるとされている。

《日本のロータリーソング》

1935年(昭和10年)5月京都における第7回第70地区年次大会において、予てより募集していた「日本語歌詞によるロータリーソング」の当選発表を実施。4作品が選出された。(「旅は道連れ」、「奉仕の理想」、「平和を人に」、「我等の生業」)戦後の歌としては1951年(昭和26年)「手に手つないで」が発表され、翌27年の60地区・61地区分割の際、神戸地区大会で手を繋いで歌われたのが現在まで踏襲されている。1953年(1951年?)「それでこそロ・タリー」が作成された。1973年「日も風も星も」も日本人の作詞・作曲。同年「四つのテスト」にも曲が付いた。その後も各クラブで独自のロータリーソング、クラブ歌が作成され歌われている。

「奉仕の理想」：作詞；前田和一郎(元京都 R.C)、作曲；萩原英一(元東京 R.C)

「我等の生業」：作詞；高野辰之、作曲；岡野貞一

「それでこそロ・タリー」：作詞・作曲；矢野一郎(東京 R.C)

「手に手つないで」：作詞・作曲；矢野一郎(東京 R.C)

現在多く歌い継がれているのは上記4曲、「神奈川東 R.C」も同様で独自の歌はない。

(第一例会： 第二例会： 第三例会： 第四例会：
の順)

(第五・夜間例会、その他特別の例会時もロータリーソングを歌う時は が多い)

《国歌・君が代》

現在日本の殆どのクラブでは月初の「第一例会に国歌斉唱」を実施している。

世界では例会時の国歌斉唱は少ない。(日本の影響でアジアでは実施する R.C あり)

1938年、RIの本部がアメリカにある事により、日本の官憲からの無用な疑いを回避する為に「国旗掲揚・国歌斉唱」を実施したことが始まり。世界では一般的ではない。

= = R 情報委員会 =

国際ロータリー：水対策支援グループ第2ゾーン コーディネーター：上野 孝氏より、2590地区での水対策支援活動現況報告の依頼が、地区国際奉仕委員長の吉原皓一郎氏にありました。当地区内で永年にわたって継続的に水対策支援活動を行なっているクラブは神奈川東 R.C しか無い為、当クラブに概要報告の依頼がありました。2日以内に報告を頂きたいとの急な話の為、当初より関わってこられた石川正三会員に依頼して、以下の報告書を地区国際奉仕委員長に提出しました。

「神奈川東 R.C のスリランカへの井戸寄贈事業について」

寄贈本数

- ・平成11年6月から19年6月までで、合計30本
- ・クラブからの寄贈24本、会員個人の寄贈4本
- ・近隣商店街の寄贈1本
- ・姉妹提携の台湾・淡水 R.C との共同寄贈1本

寄贈井戸は、スリランカ各地の山村の集落で、20~30所帯70~80人の住民が飲み水や農業用水として使用している。

従来は1km以上離れた川や溜池から毎日、主婦や子供たちが担いで運んでいた。井戸の完成で、住民は長年の水の運搬作業から解放され、衛生面だけでなく、その時間の活用で生活に様々なゆとりができています。また農業用水の確保で、米の二期作や野菜などの生産が可能になり、ほとんどの集落で収入が増えている。

寄贈資金は平成13年秋から R.C のある神奈川区の『区民まつり』に会員や家族・数十人が参加して募金活動を行い、毎年20~30万円の浄財を集めて原資にしている。1本の掘削費用は7万5千円。今年も10月7日に反町公園で開かれる『区民まつり』に参加して、募金活動を展開する予定。

当クラブの支援方針と協力組織

クラブでは、単なる資金援助ではなく、その支援が現地でどのように生かされ、設置後も維持や管理ができるかどうかを確かめられるもの限定している。幸いにも本計画は、20年以上に亘ってスリランカへの支援を続けている東京の OWOP 協会(鈴木一男会長)と現地最大の NGO 組織「サルボダヤ会」との密接な連携が築けたことが、本事業継続の大きな要因になっている。

クラブの支援は、この両者によって現地で確実に具体化され、その維持管理や住民の反響などの情報が逐一クラブに伝えられるため、会員の関心や意識が高まり、毎年のクラブ挙げての募金活動にも繋がっている。

毎年5月、クラブの使節団が現地を訪れ、寄贈井戸の引き渡し式に参列して各地で大歓迎を受けた。クラブでは、事業の継続と共に、今後、寄贈井戸の水質検査の実施や補修支援なども検討したいと考えている。

次回《9月21日》の卓話予定

ガーディニングカウンセラー

岡井 路子 様(植田 清司 会員)